

松原市公共施設等総合管理計画【概要版】 平成 27 年 5 月策定 [令和 4 年 3 月改訂]

1. 公共施設等の現況、将来の見通し及び課題

公共施設等の現況と課題

◆公共施設の現況

整備年度別の公共施設の延床面積割合を見ると、昭和 56（1981）年以前の旧耐震基準で整備された割合は 60%に達し、昭和 57（1982）年以降の新耐震基準で整備された割合の 40%を大幅に上回っています。旧耐震基準の施設の耐震化状況は、令和 3（2021）年 4 月 1 日時点では耐震改修の実施済が 84.4%、耐震改修の不要が 14.9%となっており、旧耐震基準で整備された施設が多いものの、ほぼ 100%の公共施設において耐震基準を満たしており、施設の耐震化は進んでいます。

◆施設保有量の推移

公共施設の延床面積では、計画策定時（平成 27（2015）年度）に比べ、改訂時（令和 3（2021）年度）の方が大きくなっていますが、施設数は、改訂時（令和 3（2021）年度）の方が 6 施設少なくなっています。

総人口及び年代別人口についての今後の見通し

本市の将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計（平成 30（2018）年 3 月推計）によると、平成 27（2015）年を 1 として令和 27（2045）年の年齢構成別人口比を算出すると、総人口が 0.68 倍、年少人口が 0.52 倍、生産年齢人口が 0.57 倍、老年人口が 0.97 倍と、すべての年齢構成で減少する見込みです。

財政の現状と課題

◆歳入及び歳出

歳入については、財政規模が平成 15（2003）年度から令和元（2019）年度まで緩やかに増加しています。歳出については、令和元（2019）年度の歳出に占める義務的経費が 271.6 億円で 59.5%となっています。近年、扶助費等の社会保障経費の割合が増加傾向にあり、今後もこの傾向が続くことが予想されます。

◆投資的経費、維持補修費の見通し

本市が保有している公共施設等を今後も保有し続け、耐用年数経過後に現在と同じ規模で建替・更新を行うこととした場合（以下「単純更新」という。）に、本計画策定当初から今後 40 年間で必要となる費用の推計結果は以下のとおりです。

過去 5 年間の年平均更新費用 (A)	今後 40 年間の総合計	今後 40 年間の年平均更新費用 (B)	比率 (B/A)
36.7 億円	2,058 億円	51.5 億円	1.4 倍

◆中長期的な維持管理・更新等に係る経費

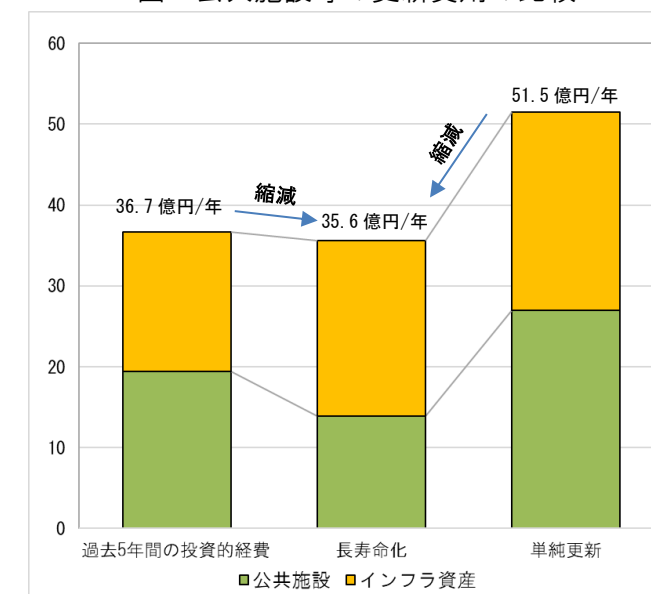
今後 40 年間に於ける長寿命化対策を反映した公共施設等の更新費用の試算結果

今後 40 年間の総合計		年平均更新費用	
総合計 1,424 億円	公共施設 557 億円 インフラ資産 867 億円	35.6 億円	公共施設 13.9 億円 インフラ資産 21.7 億円

◆更新費用の比較

公共施設等の更新費用については、長寿命化対策を反映して試算した場合が年平均額約 35.6 億円となり、単純更新した場合の更新費用の年平均額約 51.5 億円や過去 5 年間の投資的経費の年平均額約 36.7 億円よりも縮減されることが分かりました。

図 公共施設等の更新費用の比較



2. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針

計画の管理方針

◆公共施設等マネジメントの理念・目的

- 予防保全による長寿命化と総量の抑制による更新費用の縮減
- 年齢構成やニーズの変化に対応した機能の提供
- 効率的・効果的な行政サービスの実現

◆計画期間

平成 27（2015）年度から令和 26（2044）年度の 30 年間

公共施設等の管理に関する基本的な考え方

◆公共施設等の数量に対する数値目標

公共施設等の効率的な維持管理・更新や施設の長寿命化対策の実施による更新費用の縮減とともに、今後の人口減少を踏まえた対策や災害発生時の安全確保や速やかな復興等から公共施設等の総量縮減を図ります。

公共施設の縮減への見通しとしては、長寿命化対策による効果を確認しつつ、個別施設計画における、「あり方検討」の対象施設、つまり利活用を検討している施設の延床面積が約 15,000 ㎡となり、公共施設全体の面積 298,387.61 ㎡の約 5%となることを踏まえ、令和 27（2045）年までに令和 3（2021）年時点の公共施設の延床面積から 5%の縮減とします。

さらに、公共施設全体の内の約 56%の延床面積を占める学校教育系施設におきましては、個別施設計画において、長寿命化対策をとりつつ「学校規模の適正化」や「小中一貫校による学校再編」など、適正規模の検討を図っていくことが記されていることから、一定の縮減効果を見込むものです。

	令和 3（2021）年	令和 27（2045）年	数値目標
延床面積	298,387.61 ㎡	283,468.23 ㎡	95%（5%縮減）

◆ユニバーサルデザイン化の推進

誰もが安全に安心して円滑かつ快適に利用できるように、各公共施設のユニバーサルデザイン化の推進を図ります。